



真剣勝負だ!

地域のできごと まちのほっとフォト

📷は、市民リポーターが取材・撮影しました
(14人が登録しています)

トチオーレでとちお歌がるた大会を開催。住民なら取れて当然!の栃尾ネタ満載のかるたは、地元の高校生が作りました。読み手の声を聞き逃すまいと集中する子どもたち。目当ての札を見つけて「取った!」(1月11日) 📷棚橋洸也さん



決まるか!?高得点

川口コミュニティセンターで行ったニュースポーツ体験会。約30人がボッチャにチャレンジしました。転がったボールの行方に一喜一憂。冬の寒さにも負けない、熱い戦いが繰り広げられました。
(1月15日) 📷水谷伶南さん

活気あふれる 新年の市場



寺泊漁業協同組合で今年の初競りが行われました。マダイやヒラメ、ズワイガニなど約30種類の新鮮な魚介類がずらり。威勢の良い掛け声とともに、次々と競り落とされました。(1月5日)

今年も元気に過ごせますように



三島地域の鳥越地区で「さいの神」が行われました。炎の勢いが収まると、竹竿を手に集まる子どもたち。スルメをあぶり、一年の無病息災を願いました。(1月12日)

私だけの雪景色



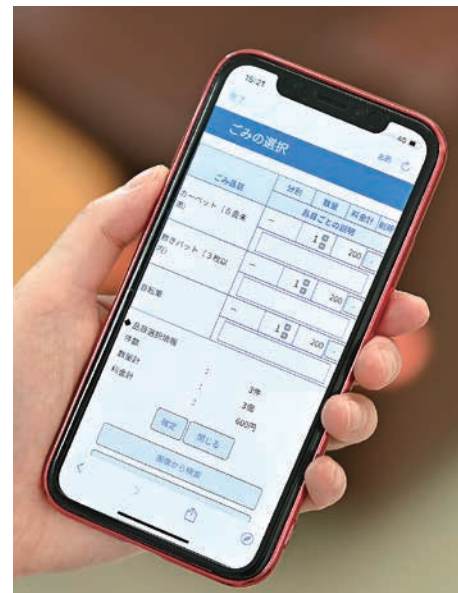
和島保健センターで、小学生19人がスノーボード作り挑戦。長岡工業高等専門学校学生のサポートを受け、プラバンに絵を描いたり、スノーパウダーを手作りしたり。思い思いの雪景色を表現しようと、真剣なまなざしで取り組みました。(12月14日)

Instagramから #ほっとフォト長岡

市公式Instagramをフォロー&タグ付けして投稿された写真を紹介します。
川口地域・牛ヶ首展望台から望む越後駒ヶ岳
(投稿者・esp1962さん)

投稿募集中

詳しくは
市公式
Instagramで



市は、粗大ごみ収集を一元管理するシステムを新たに導入しました。インターネットでの申し込み時に、収集日の選択や料金の確認ができる機能などを搭載。より簡単に手続きできるようにしました。併せて、これまで紙で行っていた受付伝票の処理や収集ルートの作成などを自動化。市と収集業者の業務負担の軽減につながります。
市は今後もDX※に取り組み、行政サービスの質の向上と業務の効率化を実現していきます。

粗大ごみ収集のDXを推進 申し込みがもっと簡単に

DX推進
の効果

利用者

利便性向上

- ・収集日の選択や料金の確認が可能に
- ・収集日前日のお知らせメールでごみの出し忘れを防止

収集業者

生産性向上

- ・収集内容と件数をシステム上で把握
- ・最適な収集ルートを自動作成

市

業務効率化

- ・年間2,300時間の削減(見込み)
- ・紙の受付伝票を廃止
- ・料金計算の自動化

引っ越しシーズンの 申し込みはお早めに

春は申し込みが多く、受け付けから収集までに2週間程度かかります。
▶申し込みはこちら



効率的な収集ルートがシステムで作成してくれるので、経験の浅い社員でも業務を進めやすくなりました。

▶中越環境保全事業協同組合
青柳 徹さん



※DX (デジタルトランスフォーメーション) …デジタル技術を用いて生活やサービスをより良く変化させること

災害時の避難場所確保へ、協定締結



市は岩塚製菓(株)と、災害時に一時的な避難場所として同社の施設を利用する協定を締結しました。災害発生時に同社の本社・飯塚工場、沢下条工場を開放。避難した住民には、携帯電話の充電用電力や、テレビ・ラジオなどで得られた災害情報を提供します。施設は合わせて約650人を収容でき、今後、停電に対応できる非常用発電設備を設置予定です。

市の指定避難所から距離がある飯塚・沢下条地区の避難場所を増やすことで、地域住民の安心につながります。(1月17日)

かわぐち保育園が開園 水害対策も



1月27日から保育が始まった「かわぐち保育園」で開園式を開催。年長児25人による合唱やくす玉割りや、新しい園舎の完成を祝いました。

地域唯一の保育園だった東川口保育園の老朽化に伴い、川口中学校の敷地内に移転・新築した同園は、高床式の4階建て。保育室を2・3階、電気室を4階に設けるなどして水害対策を強化しました。今後、川口中学校の生徒との交流や、近接する川口小学校との連携により、保育・教育環境のさらなる充実を図ります。(1月18日)